

イ 現地調査

事業区間と交差することが考えられた散歩道について、歩行者の利用状況等を把握するために現地踏査を実施した。

調査結果を、表 8.7.1-7(1)から表 8.7.1-7(3)及び図 8.7.1-2に示す。

表 8.7.1-7(1) 散歩道の状況（武蔵野の路（千川・石神井コース））

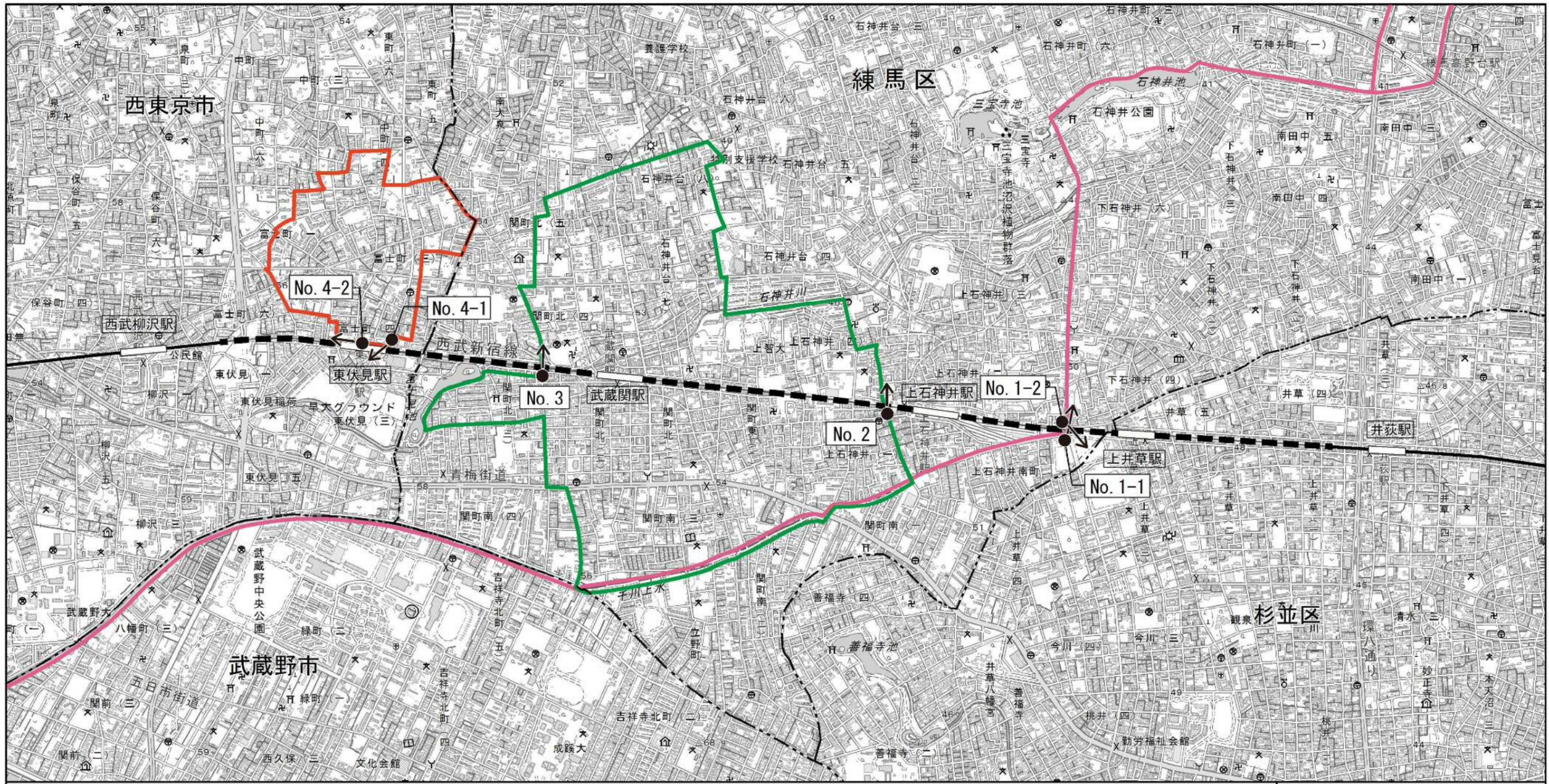
利用状況	<p>上井草駅から上石神井駅までの間の事業区間との交差部は、南北へ移動する自動車の交通量が多い箇所となっており、地域の生活道路として利用されている。</p> <p>また、事業区間との交差部は、住宅が立ち並んでおり、自然的な環境は見受けられない。</p>
面積・延長	約 8.9km
交通手段	西武新宿線上井草駅から徒歩（約 400m）
地点の状況	<div data-bbox="467 725 1310 1279" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="419 1281 1353 1314">No. 1-1 上井草駅から上石神井駅までの間の事業区間との交差部の状況①</p> <div data-bbox="467 1348 1310 1901" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="419 1904 1353 1937">No. 1-2 上井草駅から上石神井駅までの間の事業区間との交差部の状況②</p>

表 8.7.1-7(2) 散歩道の状況（ねりまの散歩道（武蔵関公園コース））

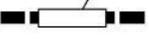
<p>利用状況</p>	<p>上石神井駅付近における事業区間とねりまの散歩道との交差部は、地域の生活道路として利用されている。また、付近に上石神井小学校、上石神井中学校があり、通学路としても利用されている。事業区間との交差部は、商業施設や住宅が立ち並んでおり、自然的な環境は見受けられない。</p> <p>武蔵関駅から東伏見駅までの間における事業区間とねりまの散歩道との交差部は、地域の生活道路として利用されている。また、早春期には、交差部の西側の石神井川沿いが桜並木となっていることから、花見の利用者が散見される。</p>
<p>面積・延長</p>	<p>約 7.8km</p>
<p>交通手段</p>	<p>西武新宿線上石神井駅から徒歩（約 200m） 西武新宿線武蔵関駅から徒歩（約 400m）</p>
<p>地点の状況</p>	<div data-bbox="469 624 1310 1178" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="560 1182 1214 1211">No. 2 上石神井駅付近の事業区間との交差部の状況</p> <div data-bbox="469 1247 1310 1800" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="464 1805 1310 1834">No. 3 武蔵関駅から東伏見駅までの間の事業区間との交差部の状況</p>

表 8.7.1-7(3) 散歩道の状況（みどりの散策マップ（屋敷林と畑のコース））

<p>利用状況</p>	<p>東伏見駅北口の事業区間と並行する区間は、駅利用者や地域の生活道路として利用されている。 また、東伏見駅北口付近は、駅広場の周りに商業施設が立ち並んでいる。 なお、散歩道の始点としての利用があると考えられる。</p>
<p>面積・延長</p>	<p>約 3.6km</p>
<p>交通手段</p>	<p>西武新宿線東伏見駅北口</p>
<p>地点の状況</p>	<div data-bbox="469 488 1310 1041" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="687 1043 1082 1077">No. 4-1 東伏見駅北口の状況①</p> <div data-bbox="469 1111 1310 1664" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="687 1666 1082 1700">No. 4-2 東伏見駅北口の状況②</p>



凡例

-  駅
-  事業区間
-  現在線
-  区市界
-  自然との触れ合い活動の場調査地点 (No. 1~No. 4)
-  ねりまの散歩道
-  武蔵野の路
-  みどりの散策マップ

N

1 : 20,000



図 8.7.1-2 散歩道と事業区間との交差部位置図

8.7.2 予 測

(1) 予測事項

予測事項は、事業による自然との触れ合い活動の場への影響の程度とした。

(2) 予測の対象時点

予測の対象時点は、工事の施行中とした。

(3) 予測地域

予測地域は、「武蔵野の路（千川・石神井コース）」、「ねりまの散歩道（武蔵関公園コース）」及び「みどりの散策マップ（屋敷林と畑のコース）」と事業区間が掛かる範囲とした。

(4) 予測手法

事業計画を基に、自然との触れ合い活動の場の位置、区域及び分布状況と対象事業の計画とを重ね合わせる方法により予測した（図 8.7.1-2（219 ページ）参照）。

(5) 予測結果

予測の結果、図 8.7.1-1に示すとおり、事業区間周辺には、公園等が点在するが、直接的な改変はないことから、公園等への影響は小さいと考えられる。

なお、「武蔵野の路（千川・石神井コース）」及び「ねりまの散歩道（武蔵関公園コース）」と想定される主な工事用車両の走行ルートとの一部が重なることから、工事用車両の出入りが想定される事業地付近では、工事の施行に伴い、自然との触れ合い活動の場への影響が考えられる。

また、東伏見駅の北側に仮線を設ける計画としており、「みどりの散策マップ（屋敷林と畑のコース）」の一部が改変されることから、工事の施行に伴い、自然との触れ合い活動の場への影響が考えられる。

そのため、工事用車両の出入口付近に交通誘導員を配置することや、東伏見駅の北側における迂回路の設置等の措置を講じることで、歩行者や自転車の移動阻害を防ぎ、通行空間を確保するほか、工事用車両の走行ルートと重なる散歩道では、工事用車両の制限速度を守り、安全運転を徹底することとする。以上のことから、自然との触れ合い活動の場の利用に著しい影響は生じないと予測される。

8.7.3 環境保全のための措置

(1) 予測に反映した措置

- ・工事用車両の出入口付近に交通誘導員を配置する等の措置を講じることで、歩行者や自転車の移動阻害を防ぐ。
- ・東伏見駅の北側に迂回路を設置することで、通行空間を確保する。
- ・工事用車両の運行に当たっては、制限速度を守り、安全運転を徹底する。

8.7.4 評 価

評価の指標は、「自然との触れ合い活動の場に著しい影響を及ぼさないこと」とした。

事業区間周辺には、公園等が点在するが、直接的な改変はないことから、公園等への影響は小さいと考えられる。

なお、「武蔵野の路（千川・石神井コース）」及び「ねりまの散歩道（武蔵関公園コース）」と想定される主な工事用車両の走行ルートとの一部が重なることから、工事用車両の出入りが想定される事業地付近では、工事の施行に伴い、自然との触れ合い活動の場への影響が考えられる。

また、東伏見駅の北側に仮線を設ける計画としており、「みどりの散策マップ（屋敷林と畑のコース）」の一部が改変されることから、工事の施行に伴い、自然との触れ合い活動の場への影響が考えられる。

そのため、工事用車両の出入口付近に交通誘導員を配置することや、東伏見駅の北側における迂回路の設置等の措置を講じることで、歩行者や自転車の移動阻害を防ぎ、通行空間を確保するほか、工事用車両の走行ルートと重なる散歩道では、工事用車両の制限速度を守り、安全運転を徹底することとする。

さらに、鉄道の構造形式は高架構造であり、工事の完了後は踏切が除去され散歩道及び散策路の機能は向上すると考えられる。

これらのことから、自然との触れ合い活動の場の利用に著しい影響は生じないと予測され、評価の指標である「自然との触れ合い活動の場に著しい影響を及ぼさないこと」を満足する。